

- 2面◆区の防犯対策
- 3面◆地域の夏の催し
- 8面◆荒川公園永久水利施設完成披露式典と活用訓練

安全・安心なまち

あらかわを目標して

安全・安心なまちづくりのためには、区民の皆さん一人ひとりが防犯意識を高め、被害に遭わない取り組みが必要です。今号では、代表的な5つの防犯対策と区の取り組みを紹介します。

申込み・問合せ

〒116-0002荒川区荒川2-25-3
防災センター3階 生活安全課
☎(3891)8883
FAX(3891)8892

1 オレオレ詐欺等の対策

区内の被害件数・被害金額(平成26年)
46件、約1億2000万円

被害に遭わないために 次のことを心がけましょう

- ▶常に留守番電話に設定をしましょう。「〇〇(合言葉)の△△(名前)だよ」と合言葉で相手を確認すれば、犯人と話すことはありません
- ▶「電話番号が変わった」「携帯電話を失くした」と電話を受けたら、元の携帯電話か勤務先に電話をかけて確認しましょう



電話の自動通話録音機を無料で取り付けます

電話機に接続するだけで、「この電話は、振り込め詐欺等の犯罪被害防止のため自動録音されます」という警告メッセージが流れ、会話を自動的に録音する装置を9月下旬から順次無料で取り付けます。

振り込め詐欺のほか、しつこい勧誘やセールス、いたずら電話にも効果が期待できます。

- ※条件により取り付けができない場合があります
- ※ご自身で取り付ける場合は、申込書(備考欄)に「取り付け作業不要」と記載してください

- 対象** 区内在住で65歳以上の方が居住する世帯、2100台(抽選)
※取り付けの決定は、9月上旬に郵送で通知します
- 申込方法** 生活安全課・各区民事務所等で配布する申込用紙に必要事項を記載し、郵送・ファクス・来所で
※申込用紙は荒川区ホームページからもダウンロードできます
- 締切り** 8月31日(月)消印有効



2 自転車盗難対策

自転車盗難は、区内の犯罪件数の約3割を占めています。路上に放置すると被害に遭う可能性が高くなります。短時間でも、駐輪場に鍵を掛けて止めましょう。

区内の被害件数
(平成26年)
819件

3 車上ねらい対策

短時間でも車から離れる際は、必ず鍵を掛けましょう。また、車の中に現金等の貴重品を置いたままにしないようにしましょう。

区内の被害件数
(平成26年)
92件

4 ひったくり対策



ひったくり犯人の多くは、女性や高齢者を狙っています。次のことを心がけましょう。

- ▶バッグは建物側に持つ
- ▶後ろからバイクや自転車が近付いて来たら振り向く
- ▶自転車の前かごには防犯カバーを付ける
※防犯カバー(写真)は生活安全課で配布しています

区内の被害件数
(平成26年)
14件

5 空き巣対策

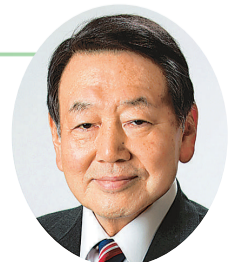
鍵を掛けていないベランダの窓や、腰高窓等を狙った空き巣被害が多く発生しています。短時間でも家を留守にするときは、全ての扉と窓の鍵を必ず掛けましょう。二重鍵等の防犯対策品を設置することも効果的です。

区内の被害件数
(平成26年)
68件

防犯対策品の購入費等に係る費用の一部を補助します

- 対象** 区内在住の方(住民登録があり、現に居住している方)
- 補助額** 対象費用の2分の1(限度額5000円)
※区内の店舗等を利用した場合に限る

▶安全・安心なまち あらかわ



荒川区長・特別区長会会長
にしかわ たいいちろう
西川 太一郎

あるウェブマガジンにおいて、荒川区が23区の中で最も安全なまちと紹介されました。これは、年間事件発生件数と事故発生件数を合わせた数が23区で最小であったことが評価されたものです。

実際に、区における刑法犯の数は、10年前と比較すると約30%減少しており、犯罪の少なさでは、23区の中で上位に位置しています。

これは日頃から、町会や防犯関係団体を始めとする地域の皆さまが、警察や区と一体となって、地道な防犯活動を積み重ねてきた成果でもあります。

隣人との関係が希薄になりがちな現代社会にあって、荒川区では今でも120の町会・自治会が中心となって、活発な地域活動が行われています。こうした高い地域力が防犯対策にも活かされており、町会等が主体となって防犯パトロール等が行われています。

もちろん、防犯対策を地域の皆さまにお任せしているだけではありません。区でも高齢者をオレオレ詐欺から守るための電話自動通話録音機2100台の無料取り付け、犯罪の抑止に効果のある防犯カメラの設置、青色パトロールカーでの警備等さまざまな事業を充実して実施しています。

今後も、区民の皆さまと区と警察が協力して、安全・安心のまちづくりを進めていきたいと思います。